

06コンクリート工事

※構造に関するくい違い項目については、構造設計図書を正とし優先するものとする。

項目

特記事項

①設計基準強度

打設部位	F _c =N/mm2	スラブ	備考
基礎	・18◎21	・12・15◎18	使用区分は構造図による
上部	・18◎21	・12・15◎18	
土間コンクリート	・18◎21	・12・15◎18	
捨てコンクリート	・15◎18	・12◎15・18	
軽量コンクリート	・18	・12・15・18	

主体部発注強度は6(N/mm2)を加えた強度以上とする。

②レディーミクストコンクリートの類別

◎レディーミクストコンクリートの類別は、表6.1.1により、適用は特記による。(表6・1・1)
特記がなければⅠ類とする。

③混和材料

◎混和材料は、鉄筋コンクリートに適した良質なものとし、種類及び適用は特記による。(6・3・5)

4軽量コンクリートの類別

・Ⅰ種 気乾単位容積質量 1.7～2.1(t/m3) (6・11・1) (表6・11・1)
・Ⅱ種 気乾単位容積質量 1.4～1.7(t/m3)

5寒中コンクリート

適用期間 年 月 日 ～ 年 月 日 (6・12・1)

6無筋コンクリート

・コンクリートの種類は、普通コンクリートとする。(6・14・1)

⑦塩化物量及びアルカリ総量

◎行う ・行わない (6・5・4)
◎無害骨材の使用。

⑧調合強度

セメントの種類	コンクリート打込み後28日までの期間の予想平均気温の範囲(℃)		
普通ポルトランドセメント	16以上	8以上16未満	3以上8未満
早強ポルトランドセメント	16以上	5以上16未満	2以上5未満
気温による補正値(N/mm2)	0	3	6

⑨試験

コンクリートの圧縮強度試験は、公認の試験所で行う。(6・10・4)
供試体の標準養生の場合は、JIS S(A1132)による20±2℃の水中養生とする。
工事現場における養生は水中養生とし、建物等に近き条件になるようにする。

⑩型枠

材料 工法 (6・9・4)
◎合板 ・金属製 ◎ポルト式 ・巻線式

型枠の最小存置期間 (表6・9・2)

施工箇所	基礎、梁側、柱、壁
セメントの種類	存置期間中の平均気温 早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント
コンクリートの材齢による場合(日)	15℃以上 2 3 5℃以上 3 5 0℃以上 5 8
コンクリートの圧縮強度による場合	―― 圧縮強度が5N/mm2以上になるまで。

支柱の最小存置期間 (表6・9・3)

施工箇所	スラブ下	梁下
セメントの種類	存置期間中の2.5平均気温 早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント	
コンクリートの材齢による場合(日)	15℃以上 1 7 5℃以上 1 2 2 5 0℃以上 1 5 2 8	
コンクリートの圧縮強度による場合	圧縮強度が設計基準強度(F _c)の85%以上又は12N/mm2以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力ついて、構造計算により安全であることが確認されるまで。	

07鉄骨工事

※構造に関するくい違い項目については、構造設計図書を正とし優先するものとする。

項目

特記事項

1鉄骨製作工場

・監督員の承諾する製作工場(国土交通大臣認定：Mグレード) (7・1・3)
・「溶接作業判定基準」に適合する製作を行う製作工場は、下記の条件を満足するもの。
1) 契約電力 ()KW以上(ダイヤモンド契約した場合はこの70%で可)
2) 超音波探傷器 ()台以上又は放射線透過試験装置 ()台以上
3) 建築士一級 ()名以上 二級 ()名以上
4) WES8103一級 ()名以上 二級 ()名以上
5) NDIUT Ⅲ種 ()名以上 Ⅱ種 ()名以上

2施工管理技術者

・適用する ・適用しない (7・1・4)

3工作図

工作図、現寸図の作成 ・有り ・無し (7・3・2) (7・3・4)

4鋼材の種類

材質 SS400 SN490C STKR400 (7・2・1)
規格 JIS G 3101 JIS G 3136 JIS G 3466

5材料試験

・適用する ・適用しない (7・2・10)

6高力ボルト

ボルトの種類 ・トルシア高力ボルト(建築基準法の認定品) (7・4・1)
・JIS高力ボルト
・溶融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法の認定品)
ボルトの種類 ・ボルト孔の径は表7.3.2iによる。

7普通ボルト

・ボルト孔の径は表7.3.2iによる。(7・5・1)
普通ボルト接合の座金の厚さ(単位：mm)

ボルト径	M12	M16～M22	M24、M30
並形一部品等級A	2.5	3.0	4.0

08ブロック・ALCパネル工事

項目

特記事項

1建築用コンクリートブロック

補強コンクリートブロック造 (8・2・2)
・Ⅰ6(C種)普通ブロック ・Ⅰ6(C種)防水ブロック
コンクリートブロック杭壁及び堀
・ブロックは、JIS A 5406(建築用コンクリートブロック)による。(8・3・1)
適用箇所 断面形状及び圧縮強さによる区分
・間仕切壁、地下二重壁、外壁、堀 空洞ブロックⅠ6
◎衛生配管用裏積みブロック 空洞ブロックⅠ8

2ALCパネル

パネルはJIS A 5416(軽量気泡コンクリートパネル)による。(8・4・2)

種類	厚さ(mm)	単位荷重(Kgf/m2)
外壁用	・120(125)・150	
間仕切用	・100・120(125)・150	
屋根用	・100	
床用	・100	

外壁パネルの取付工法 ・A種 ・B種 ・C種 (表8・4・3)
間仕切パネルの取付工法 ・A種 ・B種 ・C種 (表8・4・4)
屋根、床パネルの取付工法 ・A種 ・B種 ・C種 (8・4・6)

3押出成形セメント板

パネルはJIS A 5411(押出成形セメント板)による。(8・5・2)

種類	厚さ(mm)	単位荷重(Kg/m2)
外壁用	・35・50・60・75	・63.1
間仕切用	・35・50・60・75	
屋根用	・35	

外壁パネルの取付工法 ・A種 ・B種 ・C種
間仕切パネルの取付工法 ・A種 ・B種 ・C種
屋根パネルの取付工法 ・A種 ・B種 ・C種

清堀り及び開口部の処理 (8・5・5) (表8・5・3)
・パネルには、清堀りを行わない。開口部には、補強材を設ける。

09防水工事

項目

特記事項

1アスファルト防水

種類	工程	施工箇所
保護防水	・A-1 ・A-2 (表9・2・3) ・AⅠ-1・AⅡ-2 (表9・2・4) ・B-1 ・B-2 (表9・2・5) ・BⅠ-1・BⅡ-2 (表9・2・6) ・D-1 ・D-2 (表9・2・7)	
露出防水	◎E-1 ・E-2 (表9・2・8)	
屋内防水		

アスファルトの種類 ◎3種
アスファルトルーフィング ◎1500
断熱材 ・材質 JIS A 9511 ポリスチレンフォーム 3種b
厚さ 25
絶縁用シート・ポリエチレンフィルム厚さ 0.15
◎フラットヤークロス(70g/m²程度)
端部押え金物 ◎アルミニウム製L-30×15×2.0程度
成形伸縮目地 ・目地幅は25mm、高さ調整が可能なもので、付着層又はアンカー部を備えた製品とする。

2合成高分子シートルーフィングシート防水

種類	厚さ(mm)	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
S-F1 加硫ゴム系張付け				
S-F2 塩化ビニル樹脂系張付け				
S-M1 加硫ゴム系固定金具				
S-M2 塩化ビニル樹脂系固定金具				
S-M3 熱可塑性ポリイソプレン系固定金具				

立ち上がり部は、同シートの接着工法とする。
断熱材 ・無し
脱気装置 ・無し

3塗膜防水

種類	厚さ(mm)	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
X-1 ウレタン防水材(Ⅰ類)塗り				
X-2 ウレタン防水材塗り				
Y-1 ゴムアスファルト防水材				
Y-2 ゴムアスファルト防水材塗り				

4漏水試験

・室内においては、水張り試験を行う。
・屋上については、監督員の指示による。

5シーリング

被着体	記号	シーリング材の種類
金 属	S R-1	シリコン系
	S R-2	シリコン系
	M S-2	変成シリコン系
	P U-2	ポリウレタン系
ガラス	S R-1	シリコン系
	P S-2	ポリサルファイド系
コンクリート	M S-2	変成シリコン系
	P S-2	ポリサルファイド系
	P U-2	ポリウレタン系
	M S-2	変成シリコン系
ALC 押出成形セメント板	P U-2	ポリウレタン系
	P S-2	ポリサルファイド系
アルミニウム建具等の工場シール	P S-2	ポリサルファイド系
遮音壁取合い部	A C-1	アクリル系

接着性試験 ※行う(※簡易接着性試験・引張接着性試験) ・行わない。(9・6・5)

6保証年限

保証書に付いては、請負業者、防水施工業者、メーカーの連名による保証書を提出すること。
保証年限 ◎10年 (塗膜防水は5年)

10石工事

項目

特記事項

①材料

天然石	石材の種類	◎御影石
石の品質	床用石材	◎1等品
	壁及びその他の石材	◎1等品

テラゾ
種石の種類 ・大理石 ・花こう岩
表面の仕上 ・本磨き

2壁の石張り工法

外壁石張り (10・3・1) (10・5・1)
工法 ・外壁湿工法
・乾式工法
内壁石張り (10・4・1) (10・5・1)
工法 ・内壁干掛工法
・乾式工法
◎半乾式工法(ボンド工法)

3床の石張り工法

石材の厚さは特記による。(10・6・1)

4特殊部位の石張り工法

材料 ◎御影石 (10・7・1)

取付け代 ◎見上げ面の取付けに吊りボルトを使用する場合は、10・5・3による。

下地ごしらえ ◎吊りボルトを設ける場合は、原則として、構造物の施工時に吊金物受け用のアンカーを取り付ける。

目地 ◎一般目地
・伸縮調整目地

株主会社アイマーカー級建築士事務所

一級建築士事務所登録：第12842号

一級建築士大臣登録：第193404号

国本 正和

DATE

H 2 8 . 8

JOB NAME

平成28年度 表丹沢野外活動センター昔の生活学習館(仮称)建設工事

TITLE

特記仕様書2

A

02